



平成21年5月11日

各位

会社名 旭硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 石村和彦
(コード番号 5201 東証第1部)
問合せ先 広報・IR室長 上田敏裕
(TEL. 03-3218-5509)

棚卸資産評価損の計上及び有形固定資産の耐用年数の変更に関するお知らせ

旭硝子株式会社(本社:東京、社長:石村和彦)は、平成21年12月期第1四半期(平成21年1月1日~平成21年3月31日)において、下記のとおり棚卸資産評価損の計上及び有形固定資産の耐用年数の変更による減価償却費の増加がありましたので、お知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損の計上

当社は、平成20年4月1日以後開始する事業年度から適用される「棚卸資産の評価に関する会計基準」を踏まえ、当第1四半期において連結で5,075百万円、単独で4,107百万円の棚卸資産評価損を売上原価として計上いたします。

2. 有形固定資産の耐用年数の変更

当社は、法人税法の改正を契機に、実態に即して有形固定資産の耐用年数を見直し、当第1四半期において連結で2,669百万円、単独で2,330百万円、減価償却費が増加しております。

なお、平成21年12月期では、連結で約110億円程度、単独で約95億円程度、減価償却費が増加する見込みです。

3. 業績見通しへの影響

本件について、平成21年12月期の連結業績予想に変更はありません。

以上